

全私保連 保育運動新しい時代は子どもから

いつもの保育の実践と 写真で伝える 私たちが伝えたい 7つのメッセージ

5 子ども同士の関わりが大切です

みんなで食べると美味しいんです

7 子どもは自然が大好きです

い時代は子どきから

……平和の中で「遊ぶ」「学ぶ」環境を子どもの「遊び」を守りましょう

2

ども、子どもたちは、自らが考える主体的な遊びの中で多くのことを学ん いくことが私たち大人の使命です。 でいます。子どもにとっては遊びこそが学びであり、その機会を保障して 私たち大人は、「遊び」と「学び」を対立的に考えてしまいます。けれ

度もやり直しては話し合う。出来上がった時の喜びや達成感は、また次の ができるか」といったことを、友だち同士で工夫していきます。 例えば、砂場遊びで「どうやったら大きな山の下にトンネルを掘ること 何度も何

私たちが伝えたい了つのメッセージ

1 子どもの思いを受け止めましょう

3 子ども自身に乗り越える力を育てましょう

子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう

2 子どもの「遊び」を守りましょう



遊びの発展」につながっていきます。

アイデアを出し合い、工夫します。は水が溜まる。それを「なぜだろう?」「どうしてかな?」と考え、次ののですが、溜まらず染み込んでいく。周りを見ると、砂ではなく土の上にまた違う場面では、砂の上に水を溜めようとしている子どもたちがいる

ばえ」から「自覚的な学び」へとつながる大切な時間になります。そのような不思議に思う子どもたちの気持ちやひらめきは、「学びの芽

す。そのような中で、「遊び」が子どもたちの道徳心さえも育てていくのきです。何をするのか、誰とどうやって遊ぶのかは、子ども自身が考えましが関与や干渉するべきことではなく、ただただ遊びの機会を保障するべんが関与や干渉するべきことではなく、ただただ遊びの機会を保障するべんが関与や干渉するべきことではなく、ただただ遊びの機会を保障するべまだ、一人ひとりがさまざまなあり方を認め合い、その個性や能力を発また、一人ひとりがさまざまなあり方を認め合い、その個性や能力を発また、一人ひとりがさまざまなあり方を認め合い、その個性や能力を発

環境を担保することが大人の役割であり、責任だと思います。生まれた子どもたちみんなに、平等に平和が保たれ、平和の中で「遊ぶ」しい子どもたちにも、その「遊び」の機会は存在するべきです。この世にがら生活をする子どもたちにも、困窮家庭で毎日のご飯を食べることが難昨今の海外の紛争下で命の保障が難しい子どもたちにも、虐待で怯えな

そのためにも、私たちは子どもの「遊び」を守りましょう。ちが感じるすべてのもの、そのすべてが子どもたちの未来をつくります。今も、これから先も、子どもたちに見えるものや触れるもの、子どもた